県かこ 兵庫県立加古川医療センター

地域医療連携ニュース

vol.92
2019年
8.9月号

発　行：兵庫県立加古川医療センター　〒675-8555 加古川市神野町神野 203 番地　http://www.kenkako.jp/
ＴＥＬ：079-497-7000(代表)　ＴＥＬ：079-497-7011(地域医療連携部直通)　ＦＡＸ：079-438-3756(地域医療連携部直通)

もくじ

- 地域医療連携部 …… 1
- 糖尿病・内分泌内科 …… 2
- 脳神経外科 …… 3
- 検査・放射線部 …… 4
- 緩和ケア内科 …… 5
- NST(栄養サポートチーム) …… 6
- 研修医の紹介 …… 7
- 外来診療表 …… 8

地域医療連携部

地域医療連携部では、開業医の先生方や医療機関、施設との病院連携、病病連携を重視し、患者さんや地域の皆様が安心して受診していただけるように努めています。

地域医療連携部を利用していただくと、患者さんの診察予約や検査予約が可能になり、患者さんがスムーズに受診することができます。患者さんのご紹介の際には、ぜひ、ご利用下さい。(今年度より、受付時間を拡大しました。)

地域医療連携部(予約担当)

直通番号：０７９－４９７－７０１１
FAX番号：０７９－４３８－３７５６
受付時間：平日９：００～１８：３０
土曜日(祝日除く) ９：００～１１：３０

東播磨地域の中核病院として、地域包括ケアシステムが充実し、当センターの役割を果たせるよう努力してまいります。今度とも、よろしくお願いします。

抱えている悩みが、少しでも軽くなるようお手伝いします。

患者相談支援センター

対象者：患者さんだけでなく、家族も利用可能
当センター受診の有無を問いません。
相談日時：月曜日～金曜日　9：00 ～ 17：30
費　用：無料
場　所：１階７番入退院受付内
方　法：電話で予約をいただくか、直接相談支援センターに来院してください。
面談は１人３０分～１時間程度

登録医制度

当センターと各医療機関において、患者さんに一貫性のある医療を提供するため、相互が密接な医療連携を図ることを目的として登録医制度を設定しております。

登録医制度のお問い合わせや、申し込みは、ホームページ又は地域医療連携部までご連絡ください。

兵庫県立
加古川医療センター
連携施設

糖尿病・内分泌内科

生活習慣病センター次長兼糖尿病・内分泌内科部長　飯田啓二

■ 当科の特徴

糖尿病・内分泌内科は、文字どおり「糖尿病内科」と「内分泌内科」の両分野おいて専門医療を提供しております。独自の糖尿病教育プログラム、高度な内分泌診療、若手医師の教育・育成、が当科の特徴です。

■ 糖尿病診療について

糖尿病診療においては、チーム医療を実践しており、治療と教育を兼ねた入院「教育プログラム」を実施しています。特徴としては、生活習慣改善に重点を置き、通常の講義形式の授業だけでなく、糖尿病食バイキングやカンバセーションマップを用いた教室など患者さん参加型の形式を取り入れています。また、専門医師による個別運動指導を実施し、病棟にエアロバイクを設置している点も大きな特徴です。腎臓内科とも密接にコラボし、腎症重症化予防に取り組んでいます。

■ 内分泌診療について

内分泌診療においては、当院は県内で数少ない日本内分泌学会認定教育施設、日本甲状腺学会専門医施設です。扱う疾患は多岐にわたり、下垂体、甲状腺、副甲状腺、膵内分泌、副腎、性腺疾患と全身をカバーします。兵庫県西部の広い地域からご紹介いただいております。正しい診断、治療により劇的に症状が改善するのが内分泌疾患ですので、疑わしい症例がございましたらぜひご紹介ください。

■ 若手医師の教育について

若手医師の教育にも力を入れており、最近では当院の専攻医、初期研修医だけではなく淡路医療センターや丹波医療センターなど他の県立病院からも熱意ある研修医が一定期間当科を選んで研修に来てくれています。若手医師たちが当科の診療の中心になり、活気にあふれた環境です。

■ 学会認定教育施設

- 日本内科学会認定制度教育病院
- 日本糖尿病学会認定教育施設
- 日本内分泌学会認定教育施設
- 日本甲状腺学会認定専門医施設
- 日本肥満学会認定肥満症専門病院

■ 糖尿病・内分泌内科担当医

飯田　啓二	生活習慣病センター次長兼 糖尿病・内分泌内科部長	平成 5 年卒
日野　泰久	糖尿病・内分泌内科部長	平成 5 年卒
戎谷 亜希子(非常勤)	兵庫県職員健康センター所長	平成 9 年卒
中村　幸子	総合内科兼糖尿病・内分泌内科医長	平成 14 年卒
石田　育大	総合内科兼糖尿病・内分泌内科医長	平成 24 年卒
石井　佳子	糖尿病・内分泌内科医員	平成 24 年卒
大西　諒子	糖尿病・内分泌内科医員	平成 25 年卒
立花 真莉子	糖尿病・内分泌内科医員	平成 26 年卒
芳村　魁	専攻医	平成 28 年卒
大町　侑香	専攻医	平成 29 年卒
木戸　希	専攻医	平成 29 年卒
前田　岳志	専攻医	平成 29 年卒

脳 神 経 外 科

脳神経外科部長　**森 下 暁 二**

対 象 疾 患

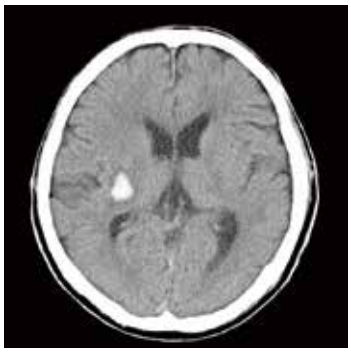
脳神経外科では、脳血管障害、外傷、腫瘍、脊髄、小児、感染症などが一般的なカテゴリーです。カテゴリーの１つである機能的脳神経外科では、てんかん、不随意運動、疼痛、痙縮など患者さんの機能改善を目標とする治療です。

当科では、標準的な脳神経外科のみならず、これらの機能的疾患に対応しています。てんかん、不随意運動は専門施設に依頼していますが、疼痛および痙縮は大学病院まで行かずとも当院で治療可能です。

難治性疼痛に対する機能的脳神経外科

薬物治療、神経ブロックなどの効果が限界の場合、脊髄刺激治療が有効な場合があります。

適応となる難治性疼痛：脳卒中後遺症、脊椎術後の疼痛、帯状疱疹後疼痛、DM 性ニューロパチー、末梢血管障害性の疼痛（ASO, バージャー病）などです。したがって、脳神経疾患のみならず、皮膚科、形成外科、整形外科、循環器科、内科患者においても適応疾患があります。



脳卒中後疼痛

腰椎術後の疼痛

われわれの目標

あきらめない後遺症、を主題とし、患者さんのみならず介護者の負担軽減を目標としています。

後遺症だから仕方がない、一生治らない、と言われ続けた場合、一度、ご相談頂ければ幸いです。

相 原　英 夫：部長（平成４年　神戸大学卒）
前　職：神戸大学附属病院脳神経外科講師
資格･専門医など：
- 医学博士（H13. 神戸大学）
- 日本脳神経外科学会専門医 (H11)
- 日本脳卒中学会専門医

専　門：脳血管障害、脳腫瘍、三叉神経痛や顔面痙攣などの機能的脳外科疾患

森下　暁二：部長（平成７年　神戸大学卒）
資格･専門医など：
- 医学博士（H19. 神戸大学）
- 日本脳神経外科学会専門医 (H13)
- 日本脳卒中学会専門医
- 日本神経内視鏡学会技術認定医
- 日本定位機能神経外科学会機能的定位脳手術技術認定医

専　門：脳外科一般

荒 井　　篤：医長（平成 14 年　神戸大学卒）
前　職：神戸大学神経外科特定助教（病棟医長）
資格･専門医など：日本脳神経外科学会専門医 (H20)
日本脳卒中学会専門医
専　門：脳卒中の外科・内科的治療、脳腫瘍

山 川　　皓：医長（平成 23 年　兵庫医科大学卒）
資格･専門医など：日本脳神経外科学会専門医 (H29)
日本脳卒中学会専門医
専　門：神経外傷

帯状疱疹後の疼痛

79歳　腰椎術後の臀部～下肢痛：2本のリード線を組み合わせて刺激。夜間の疼痛による睡眠障害が改善。

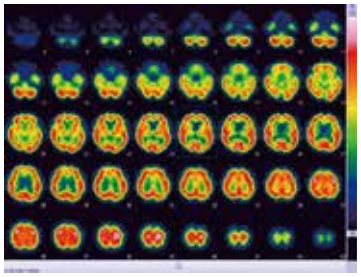
バージャー病の壊疽

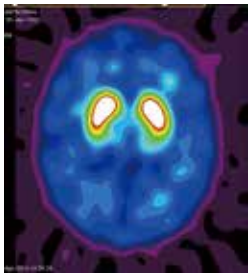
検査・放射線部（放射線）

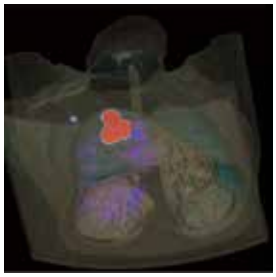
放射線技師長　芦原龍彦

最新鋭のSPECT-CT導入！！

核医学検査にシーメンス社製SPECT（スペクト）-CT装置（Symbia Intevo 6）を導入します。核医学検査は，ガンマ線を放出する「放射性医薬品」を静脈から注射し、ガンマカメラで体の中の様子を断層画像として収集する方法で、臓器の機能や代謝を画像化する検査です。このたび導入したCT付きSPECT装置は、CT画像を用いた正確な減弱補正やCT画像の解剖学的情報と機能的情報を融合することが可能で、より正確な診断や治療方針の決定に貢献できるものと期待されています。この検査では、骨腫瘍や骨の炎症、骨折の診断ができる骨シンチや心筋や脳の血流や機能を画像化するものなどを行っています。9月30日から2週間の工事の後、10月15日から検査開始予定です。ファントム実験や基礎データを収集し精度の高い検査を目指します。







『**一般撮影がフラットパネルディテクタ**』へ更新となり、長尺撮影も含めてカセッテの入れ替えなしで瞬時に撮影画像が確認でき、患者さんの身体的負担軽減と被ばく線量低減に寄与できるシステムになります。

ひと言

当院は車の便がよく、バイパスを使えば短時間で来院できます。駐車場の心配はありません。バス利用では、帰りは無料となりました。（JR加古川駅、東加古川駅まで）①CT検査　②MRI検査　③核医学検査　④骨密度測定検査を受け付けています。現在、検査予約の待ち日数はございません。受付時間は、平日18時30分まで、土曜日11時30分まで延長しました。どうぞご利用ください。

従来処理　ダイナミック処理　従来処理　ダイナミック処理

緩和ケア内科

緩和ケア内科部長　酒井英郎

平成22年4月末に緩和ケア病棟が開棟してから、おかげさまで10年目の秋を迎えることができました。

和みのこころと場を提供し、その人がその人らしく生きることを支援するという緩和ケア病棟の理念はまだ道のりは遠いと思いますが、ありがたいことに、院内外から多くの方々のご理解とご支援・ご協力を得て、患者さん、ご家族に育てていただきながらようやくここまで来れたのだと、あらためて皆様に感謝申し上げます。

特　色

緩和ケアとは、がんによって生じる痛み、その他のつらい症状や、不安、悩みなどを和らげ、ここの辛さに寄り添い、その人らしく穏やかな生活が送れるように多職種のメンバーが協力しあって行うケアです。

東播地区の中心としてがん専門病院、一般病院、地域の医療機関と協力して、患者さん、ご家族をご自宅で、あるいは入院を必要とする場合は緩和ケア病棟で支援していきます。また、遺族ケアにも取り組み、ご遺族への手紙の送付と遺族会「ひだまりの会」を年1回開催しています。

緩和ケア病棟の設備

各病室から直接出られる屋上庭園があり、天気の良い日は外気に触れての気分転換が楽しめます。また、デイルーム、催し物などを行うホールのほか、面会に来られたご家族の方が利用可能な家族室やキッチンなども設けています。

緩和ボランティア　心愛（ここあ）の会

チーム医療の一員として患者さんの入院生活に潤いと安らぎを提供できるよう活動しています。

具体的な活動は、病棟の花の世話や季節に応じた病棟の飾り付け、患者さんやご家族との話し相手や買い物への付き添い、身の回りのお手伝いなどです。

地域の医療機関の先生方へ

- 急を要するあるいは在宅では困難な症状のコントロール
- 在宅療養中で介護されているご家族の休息のための短期入院（レスパイド）
- 在宅療養が困難な患者さんの看取りを対象に緩和ケア病棟への入院をお受けしています。終末期を緩和ケア病棟で過ごすことをご希望の方はいつでもご紹介ください。

NST（栄養サポートチーム）

栄養管理課　髙橋千恵

NSTは、医師、管理栄養士、看護師、薬剤師、検査技師、言語聴覚士等の専門スタッフが連携し、患者さんに適切な栄養支援を行う医療チームです。

救急や術後、創傷治癒の栄養管理、脳梗塞等における経腸栄養の管理などを行っています。

毎週、各チームごとにカンファレンスや回診で栄養介入し、治療効果のアップ・早期回復・退院を目指し、適切な栄養管理方法の提案を行っています。

外科チーム㊊

外科チームでは、
外科・整形外科・皮膚科・泌尿器科等の患者さんに介入しています。
NSTチェアマンの衣笠医師の指導の下、患者さんの病態を把握し、プレアルブミン等のデータフォロー、経腸栄養や中心静脈栄養等輸液のメニュー提案を行い、EBMに基づいた栄養管理を推進しています。

内科チーム㊎

内科チームでは、
総合内科・形成外科・脳外科・脳神経内科等の患者さんに介入しています。
食事の調整や栄養補助食品の積極的な活用など、患者さんと相談しながら栄養管理をしています。

救急チーム㊎

救急チームでは、
HCU・ICUに入室された患者さんの栄養管理を行っています。
重症の患者さんに対しての早期経腸栄養プロトコールを作成し、積極的に介入しています。

トピックス

NSTで、InBody（インボディ）S10を導入しました！

InBodyは、体成分測定機で患者さんに重要な体水分均衡や筋肉等を部位別に分析し、わずかな体水分変化を正確に感知します。

NSTでは、サルコペニアを念頭においた栄養管理を目標に活用したいと考えています。

＼研修医がんばってます／

研修医の紹介

河合（かわい）　昴治（りゅうじ）

加古川に来て１年と少しが経ちます。多くの先生方の指導を受けながら、楽しく診療をしております。がんばります！

岡崎（おかざき）　仁志（ひとし）

県立加古川医療センターに研修医としてきてから１年が経ちました。指導医の先生方、スタッフに支えられ、充実した研修医生活を送っています。残りの研修期間も頑張りたいと思います。

秋田（あきた）　玄武（もとむ）

研修医２年目です。加古川の医療に微力ながら貢献していきたいです。

藤井（ふじい）　研己（げんき）

２年目になりました。昨年は､各先生方･スタッフの方々・その他事務の方々などのご協力でなんとかやっていけました。ありがとうございます。今年は、夏から冬にかけて院外研修となりますが、帰ってきた時はまた、元気な姿を見てください。

小林（こばやし）　大悟（だいご）

生まれ育った兵庫の地で働き始めて、１年が経ちました。兵庫の医療に貢献できるようがんばります。

油井（ゆい）　綾菜（あやな）

研修医１年目の油井綾菜です。４月から加古川医療センターで勤務しています。まだまだ至らない点ばかりですが、指導医の先生のご指導の元、充実した日々を過ごしています。これからもよろしくお願いいたします。

渡邊（わたなべ）　美季（みき）

徳島出身、研修医１年目の渡邊美季です。この度、初めて徳島を離れ、加古川に移り住むことになりました｡慣れない環境の中、温かい方々に囲まれて、日々精進しています。よろしくお願いします。

廣辻（ひろつじ）　敬士（たかし）

加古川医療センター研修医１年目の廣辻敬士です。六甲高校卒業後、高知大学で６年間部活に明け暮れ、今年から、無事に医師として働くことになりました｡今は､色々と覚えること、思い出すことが多くてあたふたする毎日を過ごしています。理想の医師像は「落ち着いている人」です。よろしくお願いします。

山岡（やまおか）　匠（たくみ）

４月から加古川に来ました、山岡匠と申します。初めての仕事、初めての土地で慣れないことも多いですが、よりよい医師となるために日々、精進していきますので、どうぞよろしくお願いします。

開院　10周年記念事業

第11回県かこ県民フォーラム
「メタボと消化器がん～あなたの生活習慣・食習慣大丈夫ですか？」

日　　時：令和元年９月28日（土）14：00～16：00
場　　所：加古川市民会館　小ホール
講演内容：1）メタボと消化器がん
　　2）毎年受けたくなる優しい内視鏡検査
　　3）メタボと肝臓がん～脂肪肝といわれたら～
　　4）あなたの食習慣大丈夫！？メタボやがんの予防になる食事とは？
参 加 費：無料

県立加古川医療センター外来診療表

令和元年８月８日（木）～

			月	火	水	木	金
総合内科	初診		石田	大北	日野	渡辺	中村
消化器内科	１診		垰本(さかもと)	【尹(再診のみ)】	廣畑(午前)	【尹(再診のみ)】	垰本(さかもと)
	２診		廣畑	岡田	【担当医】	廣畑	戎谷(えびすたに)
	３診					白川	岡田
循環器内科	１診		福田(午前)	園田(午前)	岩田	片嶋	岩田
	２診		【禁煙】			【ペースメーカー】	
脳神経内科	１診		木村	【森本】	渡部(午前) 【森本(午後)】	森本	木村
糖尿病・内分泌内科	１診		飯田	日野	飯田	石田	日野
	２診			【立花】			
緩和ケア内科	入棟面談		担当医		担当医		担当医
	サポーティブケア外来 (緩和ケア外来)		田中	担当医	田中	担当医	田中
生活習慣病			【尹(ゆん)】 肝炎	【戎谷(えびすたに)】 糖尿病・肥満	【大西】 糖尿病・肥満	【石井】 糖尿病・肥満	
			【福田】 禁煙	装具外来 (隔週・毎月第2、4火午前)			
リウマチ科	１診		田中	田中	田中	田中	担当医1
	２診		塩澤	塩澤	塩澤	塩澤	担当医2
	３診		村田	吉原	吉原	吉原	担当医3
	４診		中川	【上藤】	村田	村田	中川
腎臓内科	１診	午前	加藤(～5月末)				
		午後		加藤(6月～)		加藤(1,3,5週) 【北浦(2,4週)】	
外科・消化器外科	１診		高瀬	衣笠	小林	町田	高瀬
	２診		多田羅(たたら)	川嶋	門馬(もんま)		【衣笠】
心臓血管外科	１診			担当医			担当医
脳神経外科	１診		担当医	森下	森下	担当医	相原
	２診			荒井	山川		担当医
乳腺外科	１診		石川	石川		石川	
	２診		担当医	担当医		担当医	
整形外科	初診１診		原田	中川	高山	青木	中川
	初診２診		岸本		市村	西原	
	再診１診		【青木】	【上藤(午前)】	原田	【高山】	【担当医(午前)】
	骨粗鬆症	午後	【岸本】		【市村】		
形成外科	１診		櫻井	交代制	櫻井	櫻井	櫻井
	２診		北川		北川	北川	北川
	３診		【北野】		【谷口】	【北野】	【谷口】
皮膚科	初診／予診		【植村】	【竹内】	【高井】	【八木田】	【植村】
	１診		濱岡	足立	足立	濱岡	足立
	２診		八木田	植村	竹内	竹内	八木田
泌尿器科	１診		丸山	大場	田中	丸山	田中
	２診			担当医			大場
眼科	１診	午前		薄木	【薄木】	【薄木】 【コンタクト(隔週)】	薄木
		午後	薄木				
	２診		徳川	徳川	徳川		
	３診		【秋田(午前)】	秋田	秋田		
リハビリテーション科	スポーツ整形	午後	【柳田】				
放射線科	IVR		担当医		担当医		担当医
	治療初診		担当医	担当医	担当医	担当医	担当医
	治療再診		【佐々木】		【川口】		【久島】

予約受付時間(拡大しました)　平日 9：00～18：30　土曜日 9：00～11：30(祝日除く)

※各科診療予定は変更される場合がありますので、あらかじめご了承願います。
※【　】は予約できませんが、特別に受診を希望される場合等は、ご連絡下さい。
※リハビリテーション科・スポーツ整形は、主に学生アスリートの方を対象とさせていただいています。

お願い 患者さんの待ち時間短縮のため、FAX またはインターネットで初診予約をお取り下さい。